

Public Relations 広報いちのへ

Ichinohe 8

Aug 2025 No.757



© COVER

縄文の朝に
心も体ものびのびと



①_ラジオ体操で身体を動かした後、参加者全員で記念撮影 ②_竪穴式住居の中で縄文の暮らしをじっくり体感 ③_一戸混声合唱団まべちによる『御所野縄文公園讃歌』 ④_朝の澄んだ空気の中、みんなで朝食タイム ⑤_ごしょどんと楽しく歩いた後は、みんなで記念撮影 ⑥_北桜高校生のハンドマッサージを満喫 ⑦_記念講演を行う小松隆史さん ⑧_満面の笑みで元気に体を動かす『うわののじさま』 ⑨_参加者で博物館を飾りつけ ⑩_縄文人の気分で弓矢体験



食 べ て 、 遊 ん で 、 縄 文 気 分

博物館内では『ごしょのをかだる会』が開催。北桜高校生による迫力満点の華一の披露を皮切りに、井戸尻考古館（長野県富士見町）館長の小松隆史さんを講師に招いた記念講演「遺跡を町の宝にするために」や町教育委員会による旧朴館家住宅の報告などが行われ、参加者が御所野遺跡の魅力や価値について理解を深める機会となりました。

日中は北桜高校生と楽しむ弓矢・石斧体験やキッズお散歩ツアーなど親子で参加できる多彩なプログラムが行われ、各ブースに多くの人が集まり、楽しみながら縄文文化に触れる光景が見られました。

御所野遺跡の世界遺産登録4周年を記念したイベント『ごしょの縄文感謝祭2025』が7月27日に開催されました。

ごしょの縄文感謝祭 2025

1日だけの縄文人
ここに集結！

今月の表紙



7月27日に御所野遺跡で行われた『ごしょの縄文感謝祭2025』。早朝6時半から、一般的なラジオ体操とはひと味違う『うわののじさま』ラジオ体操が行われ、地元の子どもたちが元気いっぱいに身体を動かし、笑顔が広がる爽やかなスタートとなりました。

Contents _ 目次

- 02 ごしょの縄文感謝祭 2025
1日だけの縄文人 ここに集結！
- 04 表彰～各分野で喜びの声～
- 05 まちの話題
いちのへ未来会議 / いちのへふるさと PR 大使 / 土屋朱帆・KOSEI コンサート / 御所野愛護少年団ガイド
- 08 まちのお知らせと情報
- 11 一戸まつり開催のお知らせ
- 12 保健だより
- 13 北桜高校の魅力を紹介
『#桜陵』
- 14 文化・文芸・スポーツ
御所野博物館 / 運動公園 / コミセン&図書館通信
- 16 いちのへまちなみミュージアム / 文芸 / こちら町長室 / おたより / 広報クイズ
- 18 お知らせ
- 20 きらめけ！いちのへっこ / 編集後記

皆さんの地域や職場の話題などありましたら、広報担当
☎ 33-4851（内線 1212）までお気軽にご連絡ください。

萬 第 18 回萬代寄席 代館に笑いあふれる

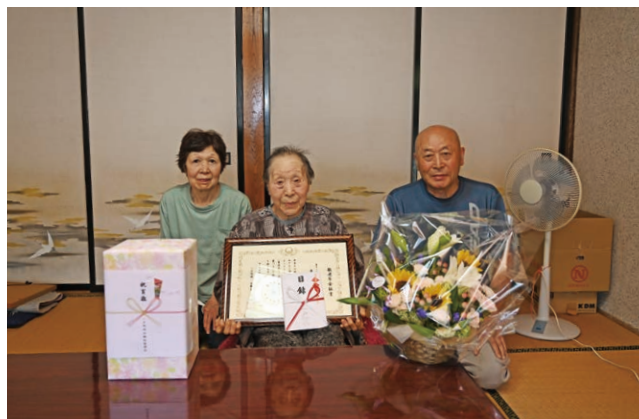
『第 18 回萬代寄席』が 7 月 6 日に萬代館で開催されました。落語家の桂小文治さん（真打）ら出演者による落語や浪曲などのプロの芸を披露。軽妙な話術やしぐさに会場は笑いに包まれました。宮川翔也さん（二戸市）は「落語を生で見るのは初めてだったが、言葉やしぐさでストーリーが伝わってきて面白かった」と満足した表情でした。



新宿末広亭を再現したステージで落語を披露する桂小文治さん

健 やかなる長寿に感謝

東野スワさん（檜山）が 7 月 10 日に満 100 歳の誕生日を迎えました。14 日には町と町社会福祉協議会から花束や記念品が贈られました。小野寺美登町長からお祝いの言葉を贈られ、うれしそうに答えるスワさん。「いっぱい食べる^{ひけつ}こと、自分でできることは自分でやる^{ひけつ}ことが長生きの秘訣」と柔らかな笑顔で話しました。



家族に囲まれ長寿を祝われるスワさん

Town Topics まちの話題

未 いちのへ未来会議 来は私たちの手で

中学生が町長、教育長および各部長と意見交換をする『いちのへ未来会議』が 7 月 8 日、町役場庁舎で開催されました。会議には町内中学校の代表生徒 15 人が参加。町の観光やイベントについて意見し、活発な議論が行われました。西館岳大さん（奥中山中 3 年）は「町の課題解決に向けて私たちができることを考える良い機会になった」と振り返りました。



自分の意見を発表する生徒

100 歳の 2 人に長寿のお祝い

斉藤キクさん（中山）は 7 月 5 日に満 100 歳を迎えました。8 日には小野寺美登町長と大道正樹町社会福祉協議会長が自宅を訪れ、長寿を祝いました。食べることが好きで、特にグラタンやシチュー、フルーツが好きなキクさん。長寿の秘訣は「好き嫌いなく何でも食べる^{ひけつ}こと。皆さんの支えのおかげで長生きできた」と笑みを浮かべました。



笑みを浮かべて記念撮影するキクさん

日本書道教育学会 第74回學會展

金子シゲ子さん 法隆寺管長賞

公益財団法人日本書道教育学会第74回學會展において、金子シゲ子さんが写経部門で特別賞となる法隆寺管長賞を受賞しました。

書を書くことが好きな金子さん。「受賞するとは思ってなかったので驚いた。今後でもできるだけ長く書き続けたい」とほほ笑みました。

今回受賞した作品は、8月15日から町コミュニティセンターで開催される『金子書道教室作品展』で8月23日、24日の2日間展示されます。詳しくは15ページをご覧ください。



受賞の喜びを胸に、笑顔を見せる金子さん



▲受賞作品の「妙法蓮華經觀世音菩薩普門品第二十五」

地域環境保全功労者表彰

奥中山高原自然愛護少年団

奥中山高原自然愛護少年団が地域環境保全に関し特に顕著な功績があった団体として、地域環境保全功労者表彰を受賞しました。

同少年団は植樹活動への参加やミズバショウ群生地の保全活動、周辺道路や公園の清掃を行っていることなどが評価されました。

団長の猪又結月さん（奥中山小・6年）は「地域の皆さんの協力のおかげで活動してこられた。これからも大好きな奥中山高原の自然を守っていききたい」と話しました。



笑顔を見せ、受賞を喜ぶ団員たち

岩手県民俗芸能協会表彰

高屋敷神楽保存会

高屋敷神楽保存会が岩手県民俗芸能協会表彰を受賞しました。

同保存会は1972年に発足してから、長年にわたり民俗芸能の保存伝承に尽くし、地域文化の振興に貢献したことが評価されました。

会長の大木勇司さん（小鳥谷）は「表彰をいただいたことに満足せず、これからもますます力を入れて活動していきたい」と決意を新たにしました。



表彰状を手にする大木さん

日 はじめての俳句教室 常を一句に込める

『はじめての俳句教室』が7月19日に町コミュニティセンターで開催されました。参加者は町文化協会短歌・俳句の会の田村望会長から、季語や切れ字など俳句を詠むポイントを教わりました。太田美嘉子さん（二戸市）は「教養を深めることができて楽しかった。季語について興味が深まった」と充実した表情を見せました。



『汗』のイメージから俳句を考える参加者

安 高齢者等見守りネットワーク協定 心できる地域づくりへ

7月28日、岩手日報いちのへセンターおよび奥中山センターと町は『一戸町高齢者等見守りネットワーク協定』の締結式を行いました。新聞配達時など業務時間内に異変を感じた際、関係機関と連携して対応し、町民が安心して暮らせる地域づくりを進めます。岩手日報いちのへセンター長の菅野綾子さんは「地域の安心安全な暮らし実現に尽力したい」と意気込みました。



左から菅野さん、小野寺町長、青木政紀さん（岩手日報奥中山センター長）

好 調べる学習教室 奇心から広がる学び

7月21日、県北教育事務所の横澤詩織さんを講師に招き、町図書館で『調べる学習教室』が開催されました。参加した町内小学生10人は、自分で決めたテーマについて本を使って調べ、まとめる活動に取り組みました。参加した釣木澤志紀さん（一戸小1年）は「自分で本を探すのが難しかったけど、とても楽しかった」と笑顔を見せました。



本を読んでメモを取る参加者

同 御所野愛護少年団ガイド 世代に伝える遺跡の魅力

御所野愛護少年団34人は7月29日、御所野遺跡を訪れた滝沢市内の小学生を対象にガイドを行いました。小鳥谷小学校と統合後、初めてのガイド活動。藤島のフジなどの小鳥谷地区の紹介も交えながらガイドを行いました。団長の切岸拓海さん（一戸南小・6年）は「練習どおりにガイドできた。良い反応をしてもらえた」と顔をほころばせました。



配石遺構について丁寧に説明する御所野愛護少年団の団員

地 元の味を知ってほしい

奥中山中学校3年生18人は、いちのへふるさとPR大使としてレタスの収穫・販売を体験しました。7月9日に行われたレタス収穫体験では、大きく育ったレタスを丁寧に収穫。慣れない作業に戸惑いながらも、レタス生産者の手ほどきを受けながら収穫しました。

10日には、収穫したレタスを盛岡市内のスーパーで販売。呼び込みをしながら奥中山高原産レタスの魅力を伝えました。

15日には、実際に自分たちの手でレタスを調理。農家直伝のレタス料理のレシピを教わり、奥中山高原産レタスの魅力を探求しました。柳澤理花さんは「おいしいレタス料理を作れた。手軽に作ることができたので、家に帰っても作りたい」と声を弾ませました。



1_レタスを販売する生徒たち。丁寧な接客を心掛け、地元の食材をPRします
2_レタスを傷つけないように収穫する生徒
3_おいしいレタス料理を調理する生徒

や 土屋朱帆・KOSEI コンサート さしい音色が心に響く

『土屋朱帆・KOSEI コンサート』が7月13日に町コミュニティセンターで開催されました。童謡歌手の土屋朱帆さんとピアニストのKOSEIさんが美しい歌声と軽やかな音色を披露。また、KOSEIさんによる、来場者のリクエスト曲の即興演奏も行われ、会場は拍手に包まれました。三浦慶大さん（一戸南小5年）は「知っている曲が演奏されて楽しかった」と話しました。



澄んだ歌声と音色で来場者を虜にする土屋さんと KOSEI さん

多 県北一戸美術展 彩な作品が一堂に

第32回県北一戸美術展が7月17日から20日まで町コミュニティセンターで開催され、87人の出展者による153点の多彩な作品が展示されました。個人のほか、北桜高校美術部や書道部の作品も並び、若い感性と熟練の技が共演しました。

来場者は作品を熱心に鑑賞し、芸術の世界を満喫している様子でした。



作品に見入る来場者

地域活動の充実、強化へ 『コミュニティ助成事業』

生涯学習・協働推進課 ☎ 33-4861 内線 1516

コミュニティ助成事業は、一般財団法人自治総合センターが宝くじの収入を財源に行っている事業です。

地域活動に必要な備品や施設を整備する場合、総事業費の10割以内（内容によって上限あり）が助成されます。助成対象団体は、コミュニティ組織（自治会・町内会などの地域的な協働活動を行う団体またはその連合体）です。

この事業を活用した野田坂町内会では令和7年度において助成金100万円が交付され、公民館に冷蔵庫と電子レンジ、エアコン2台を整備しました。



国民年金関係の電子申請は マイナポータルを利用できます

町民課 ☎ 33-4858 内線 1126

次に記載する国民年金の手続きは、マイナポータルを利用して電子申請ができます。詳しくは、日本年金機構のホームページをご覧ください。



ホームページ

■電子申請可能な申請書など

- ・国民年金被保険者の資格取得（種別変更）の届出
- ・付加保険料納付（辞退）の申出
- ・付加保険料納付該当（非該当）の届出
- ・国民年金保険料免除・納付猶予申請
- ・学生納付特例申請
- ・産前産後免除該当の届出
- ・口座振替納付（変更）申出兼還付金振込方法（変更）の申出
- ・口座振替辞退の申出

高齢者冬期居住施設 入居者を募集します

福祉課 ☎ 32-3700 内線 2605

冬期間、自宅での生活に不安を感じる高齢者を対象に高齢者冬期居住施設の入居者を募集します。

■入居期間 12月～令和8年3月

■場所 町内施設

- ※24時間、管理人や宿直を配置（介護は不可）
- ※食事は3食、施設で用意します
- ※夜間の宿直は定時巡回のみ行います

■料金 1カ月あたり65,000円程度

- ※入居者の収入に応じて料金が加算されます
- ※部屋代、食事代、光熱水費などを含んだ金額

■対象

- 町内に居住している60歳以上の1人暮らしや高齢者世帯で、冬期間中、自宅での生活に不安がある人（集団生活ができない人、問題行動がある人は入所できません）
- ※介護施設ではありません。日常生活がおおむね自立している人が対象です。

■申込方法

8月18日(月)～9月16日(火)に申込書類（町ホームページで配布）を問い合わせ先に提出してください。



ホームページ

町民セミナー奥中山コース 講演会を開催します

奥中山地区センター ☎ 35-2112 内線 6003

東北唯一の吉本新喜劇座員よこっちピーマンさんの講演です。岩手に住みながら芸人とピーマン農家の二刀流生活を通して感じたことや、地域を盛り上げる秘訣などについてお話いただきます。



■日時 9月4日(休) 13:30～14:45

■場所 奥中山地区センター ホール

■対象 どなたでも参加可能です。

- ※町民セミナーに参加していない人も参加可能です。

■申込方法

問い合わせ先に電話または申込フォームから申し込んでください。



ホームページ

町の人権啓発に尽力 長年の活躍に感謝

町民課 ☎ 33-4858 内線 1128

愛木稔さんが6月30日をもって人権擁護委員を退任しました。愛木さんは平成19年から18年間、長きにわたり人権擁護委員を務め、人権擁護と人権啓発に貢献。在任中は一戸町独自の取り組みである人権映画上映会を企画するなど、地域の人権啓発に尽力しました。愛木さんは「人権擁護委員の仕事は町民の悩みを聞くことと人権啓発活動。委員の皆さんは引き続き活躍してほしい」と期待を込めました。

赤坂典子さんが新たに人権擁護委員に着任しました。赤坂さんは「相談者の悩みの解決に少しでも貢献できるように頑張りたい」と力強く意気込みました。

町内の人権擁護委員は赤坂さんを含めて6人が活動しています。



7月25日に感謝状伝達式および委嘱状交付式が行われました（左から愛木さん、赤坂さん）

集えランナー！ 第50回一戸町民ロードレース大会 & 駅伝競走

生涯学習・協働推進課 ☎ 33-4861 内線 1512

本年もロードレース大会と駅伝競走を同時開催します。今回は第50回を記念して、県内のゆるキャラが登場します。

恒例の幼児レースや来場者への健康ポイント進呈も行いますので、幼児から大人までたくさんの参加・声援をお待ちしています！

■日時 10月4日(土)

【ロードレース】

受付 8:00～ 開会式 9:00～
スタート 9:30～

【駅伝】

受付 12:10～12:40 スタート 13:10

■場所 一戸町総合運動公園

■参加部門

【ロードレース】

- ・小学生1～3年生の部（1.3㍲）
- ・小学生4年生～一般の部（2.6㍲）

【駅伝】 ※全部門1.3㍲×4人

- ・小学生の部 ・中学生の部 ・一般の部

■参加料

【ロードレース】

- ・小学生、中学生 300円
- ・高校生、一般 500円

【駅伝】 1チーム 1,000円

■申込方法

申込書に参加料を添えて、9月17日(火)までに問い合わせ先に提出してください（町内の小中学生は所属の学校を通じて申し込んでください）。



ホームページ



奨学金返還支援制度 従業員の奨学金を代理返還する事業者を補助します

商工観光課 ☎ 33-4855 内線 1264

町では、事業者が独立行政法人日本学生支援機構（以下『機構』という。）の『奨学金返還支援（代理返還）制度』を活用し、従業員の奨学金返還を支援する事業者を認定し、支援を受けた従業員1人につき、最大12万円/年度を事業者に補助します。



ホームページ

■交付対象者

法人格を有し、対象従業員の奨学金について代理返還を滞りなく行っている認定事業者

※認定事業者になるには、あらかじめ機構の奨学金返還支援（代理返還）制度に申請をし、一戸町奨学金返還支援補助金認定事業者申請書（様式第1号）に次の全ての書類を添えて問い合わせ先に提出してください。

- (1)定款の写し
- (2)会社概要（会社案内またはパンフレットなど）
- (3)奨学金返還支援（代理返還）制度を定めている就業規則などの写し

■補助金の交付申請

補助金交付年度の4月分から3月分までの補助金について、一戸町奨学金返還支援補助金交付申請書（様式第4号）に対象従業員に係る全ての書類を添えて、当該年度の11月1日から12月31日までに問い合わせ先に提出してください。

- (1)補助金交付対象従業員証明書（様式第5号）
- (2)住民票の写し
- (3)奨学金の返還状況を証する書類（奨学金返還証明書またはスカラネット・パーソナルの「詳細情報」の画面印刷など）

- (4)労働条件通知書または雇用契約書の写し
 - (5)雇用保険に加入していることが確認できる書類（雇用保険被保険者資格取得等確認通知書の写しなど）
- ※(4)と(5)の書類は、2年目以降に申請する対象従業員分については省略することができます。

■対象奨学金

機構が貸与する第一種奨学金または第二種奨学金

■対象従業員

- 次に掲げる条件を全て満たす正規雇用労働者
- (1)町内に住所を有し、町内もしくは町外の事業所に勤務していること、または町外に住所を有するが、町内の事業所に勤務していること。
 - (2)事業主と利益を一にする者でないこと。
 - (3)この補助金以外の奨学金の返還補助などを受けていないこと。

■補助率および年度補助上限額

対象従業員が

- ①町内住所で町内勤務の場合
補助率 2 分の 1 上限額 12 万円
- ②町内住所で町外勤務の場合
補助率 4 分の 1 上限額 6 万円
- ③町外住所で町内勤務の場合
補助率 4 分の 1 上限額 6 万円

■補助対象期間

対象従業員1人につき、10年間（上限120月）

■その他

認定事業者は、町ホームページなどで周知します。詳細については町ホームページをご覧ください。

町内で多発中 不審な電話にご注意を

総務課 ☎ 33-4850 内線 1209

町内で、『NTT』を名乗る自動音声からの電話が多く報告されています。内容は『2時間後に電話が使えなくなる』というものです。この電話に応じると、『あなた名義の携帯電話が悪用されている』といった内容で個人情報や口座情報を聞き

出されたり、金銭を要求されます。

通信事業者では、回線の利用停止など重要な連絡について自動音声で案内することは一切ありませんので、このような電話があっても、絶対に応じたり、指示に従ったりせず電話を切ってください。



一戸町
八坂・稲荷神社例大祭

8月29日(金)～31日(日)

29 11:00～ 例大祭
14:00～ 神輿渡御、山車巡行【一戸駅前→下天王→選果場】

30 14:00～ 神輿渡御、権現様パレード、山車巡行【下天王→二戸消防署一戸分署】
17:00～ 奉納踊り【稲荷神社】（神楽、根反鹿踊り、来田セツ物踊り、小鳥谷セツ踊り）
18:05～ 一戸音頭流し踊り【アキヤビル前→旧一戸病院入り口】
19:00～ 山車夜間運行【一戸駅前→盛岡信用金庫一戸支店前→自由運行】

31 14:00～ 神輿渡御、華一踊り、若者連神輿、山車巡行【一戸駅前→下天王・関屋】
17:00～ 奉納踊り【八坂神社】（神楽、根反鹿踊り、来田セツ物踊り）

詳しくは町ホームページをご覧ください



一戸町実行委員会事務局
☎ 33-2111 内線 1262

#桜陵

北桜高校の星

吹奏楽部に所属し精力的に活動する昆奎伽さん。
入部のきっかけや印象深い出来事について話を聞きました。



○吹奏楽部に入ったきっかけは？

小学生の頃から三味線やピアノなどに親しみ、音楽が身近な存在だったことがきっかけです。

○部活動で嬉しかったことは？

今年の定期演奏会のポスターや部のTシャツのデザインを担当し、周りの人から褒めてもらったことがとても嬉しく、印象に残っています。

○北桜高校の魅力をお願いします！

学年の垣根を越えて仲が良く、いつも元気で活気のある雰囲気が魅力です！

話題 Topics

花で地域に彩りを 温泉を飾るプランター

2年次の総合的な探究の時間で地域活性化をテーマに活動するグループが、7月17日に奥中山高原温泉に北桜高校で育てた花を植えたプランターを設置しました。プランターは『煌星の湯』と『朝朱の湯』の入り口に設置されており、これから見頃を迎えるマリーゴールド、ペチュニア、サルビアの花が来館者の目を楽しませます。

活動に参加した一井明穂さん、稲荷果穂さん（ともに一戸中出身）は、「温泉に来ていた地域の人から感謝の言葉をいただいてとてもうれしい。地域のためにできることをこれからも探していきたい」と笑顔を見せました。



プランターとともに笑顔で記念撮影

音学で届ける思い のぞみまつりで演奏

7月5日に就労継続支援B型ほっとワークのぞみで開催された『のぞみまつり』で、総合校舎3年生の音楽選択生11人が音楽発表を行いました。

演目は、リコーダーでの『ふるさと』、ハンドベルでの『ミッキーマウス・マーチ』、合唱と手話による『糸』など4曲を演奏。生徒たちからは緊張も見られましたが日頃の練習の成果を発揮して、会場に美しい音色を響き渡せ、演奏後には観客から大きな拍手が起こりました。

中村泰成さん（一戸中出身）は、「人前で演奏するのは初めてだったが、練習の成果を発揮できた」と満足した様子でした。



出演した音楽選択生11人

総合保健福祉センター

飲酒量が増える夏 そのお酒の量大丈夫？

お酒は、飲み方次第で薬にも毒にもなります。適度な飲酒は、気分をリラックスさせ、ストレスの解消になりますが、アルコールを取り過ぎると体にさまざまな影響をおよぼします。

○飲酒の健康リスク

過度のアルコール摂取は、肝臓病

やがんの発症リスクが高まることに加え、高血圧や肥満などの生活習慣病の要因になります。一戸町の特定健診受診者のうち、飲酒習慣のある人の割合は、男性64.8%、女性29.0%となっています。そのうち40歳以上で生活習慣病のリスクを高める量の飲酒をしている人の割合は男性16.2%、女性13.5%です。お酒を飲む際は、適量を理解し、健康に配慮した飲酒を心掛けることが大切です。

○適量の目安

適度な飲酒量は純アルコール量で

1日20gが目安とされています。

【純アルコール量20gの目安】

お酒の種類	日本酒	ビール	缶チューハイ
アルコール度数	15% (180ミリリットル)	5% (500ミリリットル)	7% (350ミリリットル)
1日の適量	1合	1本	1本

また、20歳未満の飲酒は健全な成長を妨げ、急性アルコール中毒や臓器障害を起こしやすいことが分かっています。さらに飲酒開始年齢が若いほど、将来のアルコール依存症のリスクも高くなるといわれています。そのため未成年者にはアルコールを勧めず、20歳未満の飲酒を防止することが大切です。

地域包括支援センター

だと歩けないけど、二人だと歩ける』をコンセプトに介護職とサービスの利用者がともに歩く、ファッションショーの予定です。

これまでの『認知症にやさしい地域づくり』という考え方から、『認知症とともに生きる』ための共生社会の実現を目指す第一歩として今回このイベントを開催します。認知症のある人と介護職の人がともに活動する姿を通して、共生社会を目指す大切さや、お互いを尊重し支え合う姿勢を学べます。誰もが認知症のある人とともに生活できる社会を目指

し、一歩を踏み出しませんか？



★保育施設開放 ※要予約 10月14日(火) 10:00～11:00

いちのへじょうものの里こども園 ☎ 32-2220
奥中山みどりの森こども園 ☎ 35-2319
小鳥谷ふじの花こども園 ☎ 34-2524

★子育て支援ひろばのびのび

平日の㊥・㊦・㊧ 9:30～14:30
☎ 32-3770 ※(旧一戸幼稚園)

★るんだるんだ ※要予約

平日の㊥・㊦ (祝日を除く) 9:30～12:00
☎ 35-2314 ※(奥中山学園内)

シルリハー戸えがの会 園地域包括支援センター☎ 32-3700

■日時 8月22日(金)、9月5日(金) 10:00～11:00

■場所 いちボラ+ (旧一戸幼稚園) ■持ち物 タオル、飲み物

オレンジカフェさくらの会 園社会福祉協議会☎ 33-3385

・■日時 9月10日(火) 14:00～16:00

■場所 一戸病院 LET'S GO ここプロカフェ ■参加費 100円

・■日時 9月13日(土) 10:00～12:00

■場所 町コミュニティセンター ■参加費 100円

わわわのどおーも & ぶらぶららいぶらりい

〒028-5312 一戸字砂森 117-2

コミセン▷ <https://ichi-culture.jp/> ☎ 31-1400 FAX 31-1888図書館▷ <https://ichinohe-lib.sakura.ne.jp/> ☎ 43-3555 FAX 43-3310

注目1

金子シゲ子書道教室作品展

金子シゲ子書道教室の生徒の作品を展示します。また、8月23日と24日は、日本書道教育学会による第74回書道學會展で、法隆寺管長賞を受賞した金子シゲ子さんの作品を展示します。

■日時 8月15日(金)～24日(日)

■場所 町コミュニティセンター ロビー

※8月23日(土)、24日(日)は会議室にも展示します。

■入場料 無料

図コミュニティセンター



注目2

地域おこし事業『串もち作り体験』

岩手県食の匠である戸来雅美さんを講師に、串もち作りを体験します。串もちは、昔から二戸地域で食べられてきました。粉からこねて、もちを焼くところまで体験します。

■日時 9月7日(日) 13:00～15:00

■場所 町コミュニティセンター ホール

■対象 幼児以上（小学生以下は保護者同伴）

■参加費 300円

■持ち物 エプロン、三角巾

■申込方法 事前に問い合わせ先に電話で申し込んでください（先着8組）。

図図書館



児童書
『読書感想文が終わらない!』
額賀滯/作 satuki/絵
ポプラ社/刊



一般書
『虫がよろこぶ! 花図鑑』
前田太郎/著 岸茂樹/著
農山漁村文化協会/刊

おすすめの本

読書感想文を書くため図書室に行った栄人は、不思議な中学生のフミちゃんに出会う。勝手にアドバイスをしてくるフミちゃんに、言われるがまま書き始めた栄人は、だんだん自分の本当の気持ちに気が付いて…。読書感想文が書きたくなる6つのお話。

虫は何を手がかりにして花に集まるのか? ミツバチ・ハナバチなどの虫の視点から花の特徴を紹介。季節ごとに、花のサイズや集まる虫の種類、蜜の量などさまざまな情報を掲載する。花の色から調べるインデックスや植物名索引も有。花と虫の関わりがわかる一冊。

イベントカレンダー

8月

13 水 13:00～カラオケ倶楽部/無料

①

15 (金)～24 (日)

金子シゲ子書道教室作品展 (生徒作品)

20 水 13:30～童謡・唱歌を楽しむ会

①

23 (土)～24 (日)

金子シゲ子書道教室作品展 (受賞作品)

24 日 9:00～絵画教室/一般向け/無料

27 水 13:00～カラオケ倶楽部/無料

○8月休館日

12 (火)、18 (月)、25 (月)

※13 (水)～16 (土)の開館時間は
10:00～17:00

9月

10:30～としょかん映画会『げんきげんきノンタン きらきらシャランシャンおほしさま★』/絵本の読み聞かせをします/幼児・児童向け

6 土

14:00～リーヴルシネマ『ばあばは、だいじょうぶ』/一般向け

②

7 日 13:00～地域おこし事業『串もち作り体験』/幼児以上向け/300円

10 水 13:00～カラオケ倶楽部/無料

14 日 9:00～絵画教室/一般向け/無料

17 水 13:30～童謡・唱歌を楽しむ会

19 金 10:45～とことこおはなし会/乳幼児向け(地域子育て支援センターのびのび)

21 日 13:00～わわわのステージ/無料

28 日 9:00～絵画教室/一般向け/無料

○9月休館日

1 (月)、8 (月)、16 (火)、22 (月)、24 (水)、
29 (月)

秋色に染まる不思議な体験

まるっと里山プログラム
『くりかっちゃで染める』

公園に落ちているクリのイガを拾い、イガを煮出して綿のストールを染めます。ストールは輪ゴムなどで絞り模様を付けることができます。

■日時 9月28日(日) 10:00～12:00

■場所 御所野縄文公園

■料金 2,000円

■対象 中学生以上

■申込方法

8月31日(日)～9月25日(木)に問い合わせ先に電話で申し込んでください(先着5人)。

※汚れてもよい服装でお越しください



楽しく競い合う! 元気っこ大集合!

ちびっこたちの全力勝負!

走る・跳ぶ・投げる競技など、子どもたちが楽しく競い合える『NPO-リンピック』を開催します。

■日時

9月7日(日) 10:00～12:00

※11:30～お楽しみ会

■場所 一戸町総合運動公園陸上競技場

※雨天時: 屋内ゲートボール場

■料金 500円(保険料込み)

■対象 未就学児

■定員 30人

■申込方法

9月2日(火)までに問い合わせ先へ電話またはFAXで申し込んでください。

※運動遊び教室の回数券を使用できます。

秋の御所野を楽しもう!
『縄文の森観察会』

御所野縄文公園の樹木を観察しながら縄文時代の里山利用について学びます。

■日時 9月21日(日) 10:00～11:30

※雨天決行、荒天中止

■場所 御所野縄文公園(博物館エントランス集合)

■案内人 一戸町地域おこし協力隊 山本翔太氏

■その他 申込不要。長袖、長ズボン、歩きやすい靴、帽子の着用をお願いします。

History
御所野縄文博物館だより

図御所野縄文博物館 ☎ 32-2652

○休館日

8/12 (火)、18 (月)、25 (月)

9/1 (月)、8 (月)、16 (火)

※8/11 (月)、9/15 (月)は開館します

農業体験 ジャガイモ掘りとタマネギ掘り!

7月19日に農業体験ジャガイモ掘りとタマネギ掘りが行われました。参加者は一生懸命土を掘り返し、ジャガイモとタマネギを収穫しました。



Sports

運動公園だより

図NPOスポーツウェルネス

☎ 33-4444 FAX 33-4445

開館 9:00～21:00



- 先月号の答え
一戸中学校
- 先月号の当選者（応募12通）
①アメジストさん ②ひまわりさん
③青空さん
- 今月号のクイズ
Q1 7月27日に開催された『ご
しよの感謝祭2025』で、
ラジオ体操の声を担当した
のは〇〇〇〇のじさま？（ヒ
ント3分）
Q2 広報に関する意見感想、取り
上げてほしい人・内容などあ
りましたらお聞かせください。

○応募方法

ハガキ、またはメールに①クイズの
答え、②住所、③氏名、④年齢、⑤
電話番号、⑥ペンネーム（あれば）
を記入し、下記あて先へご応募くだ
さい。
右記QRコードをス
キャンして、町ホーム
ページからも応募でき
ます。

○あて先

〒028-5311
一戸町高善寺宇大川鉢 24-9
広報クイズ係（8月31日締切）
メール：kouhou@town.ichinohe.
iwate.jp

人の動き 6月末（前月比）

人口	10,463人（－14）
男性	5,065人（＋3）
女性	5,398人（－17）
世帯数	5,384世帯（±0）
転入	21人
転出	19人
出生	2人
死亡	18人

火災・救急（6月分）

火災	0件
救急	38件

交通事故（6月分）

発生件数	13件
人身事故	0件（死者0人）
物損事故	13件

ごみの量（6月分）

排出量	223.1ト
（町民1人1日）	580㍑

こちら町長室 message from the mayor



7月8日、町内中学生と『いちのへ未来会議』を開催しました。ふるさと『いちのへ』を見つめ直し、他に誇れる地域の魅力や未来につながる具体的な行動を考えることを通じ、町の将来やまちづくりへの関心を高めてほしい。そして実践できる人材育成につなげたい、との思いを込めたものですが、今回、3年生15人に参加していただき、とても有意義な意見交換となりました。

生徒の皆さんは未来会議に参加するに当たり、個人あるいはチームで一戸町の現状を調べ、今回の会議の

いちのへ未来会議を終えて

キーワード『観光』『交流』

の関わり、または温かく見

皆さんからのおたより Letter

☆おたよりありがとうございます。中学生の力が町を動かす様子に私たちも元気をもらえました。今回のフードフェスタのように、若い世代が町の中心で輝き続けてほしいですね。

☆おたよりありがとうございます。多くの来場者で賑わう様子から町の活気を感じられたのではないかと思います。来年もぜひご参加ください。

☆おたよりありがとうございます。中学生の力が町を動かす様子に私たちも元気をもらえました。今回のフードフェスタのように、若い世代が町の中心で輝き続けてほしいですね。

いちのへまちめぐりミュージアム cultural property



蒔前遺跡から出土した『遮光器土偶』

から出土したちよつと思議な形をした土偶です。御所野遺跡から見つかった土偶などの祈りやまつりの道具は、多くが中央ムラから見つかっています。しかし、この土偶は東ムラ（現在、屋外体験施

はじめに紹介する土偶は、蒔前遺跡から出土した『遮光器土偶』。乳房や腰の張り出しがたどられており、妊娠している女性が表現されています。縄文人は無事に子どもが生まれてくるよう祈りながら作ったのかもしれない。

次に紹介するのは、御所野遺跡



御所野遺跡から出土した土偶

土偶とは、粘土をヒト形に成形し、焼き上げられたもので、縄文時代を代表する遺物の一つです。ほとんどの土偶には、乳房やおなかの膨らみ、妊娠中におなかの真ん中に浮かび上がる縦線（正中線）などが表現されていることから、女性や妊婦をかたどったものと思われます。

設が建つ場所）の土器や土偶をつくるための粘土を掘り出した粘土採掘坑から見つかりました。よく観察してみると、小さな孔で表現された葉脈のような文様、両腕のような表現も見られます。明瞭な女性の表現はないものの、ヒトをかたどった土偶と見てとれます。この土偶は、どのような役割を果たしていたのでしょうか。土偶の謎はまだまだ深いです。

文芸 tanka・haiku

6月短歌・俳句会 一戸町文化協会短歌・俳句部会 場所・一戸地区センター

俳句	短歌
高原の祭りごしよどん・みどりんも 陽に透ける緑の中に友の顔 藤の花ベンチにこぼれ雨やさし 夢に会ふ夫と語りし花の庭 古古古米我れも買いたし青田風 駅前のおやめ整然濃紫 早苗田のやさし眺めの続く里	時々仕入れし魚届け来し 友の訃報に空遠く見つ うぐひすの初音聞きつつ野良仕事 鍬入れる手はリズム軽やか 店番の福祉バンクで挨拶する 青年家具をひとりに磨く 大天狗住んで居そうな大木に からみつき咲く藤島のフジ 高原の祭り人気のイベントは お宝探し宝はなあに 古き筆の手擦りの柄には二万円 若き日の夢月賦に買へり 診察の医師の言葉は「水を飲み 歩くは大事」今日も言いたり 暗みたつ木々の間の草庭に 何を目当てに蝶のおとづれ
中館 木実 遠藤 みき 柴田のぞみ 南館田鶴子 柴田サヨ子 遠藤 道子 東山 智子	東山 智子 大矢 トモ 柴田のぞみ 遠藤 みき 中館 木実 柴田サヨ子 遠藤 道子 初森 テル

こころを守るために メンタルヘルス推進セミナー 2025

県では、働き盛り世代や中高年の自殺が深刻な課題となっています。そこで、職場でのメンタルヘルス対策や自殺予防の重要性を広く伝えるためのセミナーを開催します。法令の基礎知識から、ストレスチェックの活用法、メンタル不調を抱える人の支援方法まで、実践的な内容を学べる機会です。

■日時 9月25日(木) 13:30～16:00
 11月27日(木) 9:30～12:00



ホームページ

■場所 オンライン開催
■対象 ・企業、事業所の経営者、管理職、人事、労務担当者
 ・市町村、保健所の自殺対策担当者
 ・メンタルヘルス推進の取り組みを支援する民間団体の担当者 など
■申込方法 開催日の1週間前までにホームページから申し込んでください。
■会場 IBC 岩手放送内『メンタルヘルス推進セミナー2025』事務局 ☎ 019-623-3137

医療と健康を楽しく学ぶ
二戸病院祭開催！

二戸病院では、見学・体験などを通じて病院や医療への理解を深めていただくとともに、未来の医療人材の確保を目的に二戸病院祭（病院公開）を開催します。

病院設備の見学、緊急車両展示の『展示・見学コーナー』、検査機器を実際に体験する『体験コーナー』、健康に役立つ情報満載の『市民公開講座』など、見て触れて聞いて学ぶ楽しい企画を用意し、皆さんのお越しをお待ちしています。

■日時 8月23日(土) 10:00～13:00
■場所 岩手県立二戸病院
■会場 岩手県立二戸病院事務局 ☎ 0195-23-2191



ホームページ

身近なエコで地球に優しく
カーボンフリーな夏習慣を

県では地球温暖化防止のため、『いわてエコアクション 2025 夏編』を実施しています。今夏は『カーボンフリーアクションではじめる、ちょっとトクする夏習慣』。資源ゴミをリサイクルした、古着をリメイクしたなど、日常のちょっとした行動を教えていただいた人の中から抽選で、岩手県産品や商品券が当たります。

皆さんのご参加をお待ちしています。

■期間 9月30日(火)まで
■申込方法 ホームページから応募してください。
■会場 『カーボンフリーアクションではじめる、ちょっとトクする夏習慣』事務局 ☎ 019-606-1752



ホームページ

おまつり広場に集合！
第43回中山の園まつり開催

第43回中山の園まつりを開催します。出店、ステージ発表など多くの企画を準備し、皆さんのご来場をお待ちしています。

■日時 9月13日(土) 10:00～14:00
 （雨天決行）
■場所 中山の園おまつり広場（大駐車場）
■会場 中山の園 りんどう ☎ 0195-35-2382

交通事故のトラブル
ひとりで悩まずご相談を

岩手県立県民生活センターでは、交通事故相談員が、交通事故で生じた賠償問題などの相談に応じています。面接相談や電話による相談のほか、県内各地域での巡回相談も実施しています。交通事故でお困りの人は問い合わせ先にご相談ください。

■相談日 月曜日～金曜日 9:00～17:30
 （土日祝、年末年始を除く）
■会場 岩手県立県民生活センター 交通事故相談窓口
 ☎ 019-624-2244

あなたの1枚が岩手の魅力に
お気に入りの写真を大募集！

県では、『希望郷いわて景観フォトコンテスト 2025』を開催します。過去に撮った素晴らしい景観やまちで見かけたすてきな看板など、岩手の魅力が詰まったお気に入りの写真をぜひご応募ください。

応募方法などの詳細は県ホームページからご確認ください。

■応募期間 10月31日(金)まで
■会場 県都市計画課 ☎ 019-629-5891



ホームページ

お 知 ら せ

皆さんの暮らしに役立つさまざまな情報をお届けします。

一戸町役場
☎ 0195-33-2111
〒 028-5311
一戸町高善寺字大川鉢 24-9
https://www.town.ichinohe.iwate.jp



就職希望者はぜひご参加を
ミニ面談会開催

二戸地域雇用創造協議会では、二戸地域の求職者を対象に、ミニ面談会を開催します。求人票だけではわからない生の話を各企業の担当者から直接聞くことができます。参加は無料ですので、ぜひお越しください。

■日時 8月27日(水) 受付 13:30 開始 14:00
■場所 二戸合同庁舎 1階共用会議室
■参加企業 ・社会福祉法人カナンの園
 ・株式会社菅文
 ・カワサキグリーンテック株式会社
■申込方法 8月26日(火)までにホームページ内の申込フォームから申し込んでください。
■会場 二戸地域雇用創造協議会 ☎ 0195-43-4250



ホームページ

＋ 一戸町と近隣市町村の休日当番医

■休日当番歯科医 一 診察時間 9:00～12:00 ■休日急患当番医 一 診察時間 9:00～17:00

月日	当番歯科医（管内）	休日当番医（管内）	休日当番医（岩手町など）
8/10 (日)	國香歯科医院（石切所） ☎ 23-2764	カシオペア医院 ☎ 23-3331	八幡平市立病院 ☎ 0195-76-3111
11 (月)	宮沢歯科医院 ☎ 46-2953	二戸クリニック ☎ 25-5770	八角病院 ☎ 019-682-0201
17 (日)	奥中山高原歯科クリニック ☎ 35-2951	すがわら消化器内科 ☎ 23-2879	沼宮内地域診療センター ☎ 0195-62-2511
24 (日)	ムカイダ歯科クリニック ☎ 46-4636	ほそかわ小児科クリニック ☎ 26-8100	さわやかクリニック ☎ 0195-62-2043
31 (日)	みさわ歯科医院 ☎ 43-3115	よこもり眼科クリニック ☎ 22-2230	八幡平市立病院 ☎ 0195-76-3111
9/7 (日)	宮沢歯科医院 ☎ 46-2953	小野寺内科医院 ☎ 33-2505	八幡平市立病院 ☎ 0195-76-3111
14 (日)	岩淵歯科医院 ☎ 32-2238	千葉耳鼻咽喉科医院 ☎ 26-8133	八角病院 ☎ 019-682-0201

※当番医は変更になる場合がありますので、事前に電話で確認してください

町民割引券について

奥中山高原温泉と来田保養センターでは、町民の皆さんが利用しやすいよう、割引券を発行します。点線で切り取り、フロントなどに提出すれば右記の割引が受けられますので、ぜひご利用ください。



■朝朱の湯大浴場

🌿 奥中山高原・来田温泉 町民割引券
（広報8月号—R7.9.30まで有効）

この券で、下記の温泉の日帰り入浴（入浴のみ）を割引金額でご利用できます。
※本券1枚につき1人有効。

■煌星の湯・朝朱の湯
中学生以上 100円引き
■来田保養センター
休館日 第1週、第3週火曜日
中学生以上 50円引き

🌿 奥中山高原・来田温泉 町民割引券
（広報8月号—R7.9.30まで有効）

この券で、下記の温泉の日帰り入浴（入浴のみ）を割引金額でご利用できます。
※本券1枚につき1人有効。

■煌星の湯・朝朱の湯
中学生以上 100円引き
■来田保養センター
休館日 第1週、第3週火曜日
中学生以上 50円引き

No.5 一戸野球スポーツ少年団



「二球入魂、全カプレー」

きらめけーいちのへっこ

町のスポーツ団体を紹介します
がんばれ！子どもたち



試合本番を想定した守備練習をする団員



風張 皇成さん（一戸南小6年）

一戸野球スポーツ少年団は心から野球を楽しむことを大切にしています。練習中も笑顔で白球を追いかける団員たち。チームの目標である県大会ベスト8を目指して汗を流します。

「野球の1番の魅力はバッティング。ヒットを打った瞬間は、楽しい気持ちがあふれてきます。一緒に野球を楽しみましょう！」

興味のある人はこちら▼

- 活動日時
毎週(火)(水)(金) 17:30～20:00
毎週(日) 9:00～12:00
- 場所 一戸小学校グラウンド
- 対象 小学生 ※男女問わず
- 事務局 ☎0195-33-2686

編集後記

▼奥中山中学校生徒によるレタスの収穫・販売体験を取材しました。盛岡市内のスーパーという慣れない会場でしたが、生徒たちは臆することなく、輝く笑顔と明るい声を響かせてレタスを販売。少しでもたくさんの人に奥中山高原産レタスの魅力を知ってほしい！という熱い気持ちを感じられました。生徒たちの思い、お客さんにも伝わったと思います。

▼7月27日に行われた『ごしよの縄文感謝祭2025』。縄文朝会や弓矢・石斧体験など、縄文文化に触れるプログラムが盛りだくさんで、町内外から多くの人が訪れ、子どもから大人まで楽しそうに過ごすが印象的でした。イベント随所で町の宝である御所野遺跡への誇りや愛着を感じることができ、改めて魅力を実感しました。

(安ヶ平)

●今月号の広報いちのへ印刷経費は1部84円（税込）です



広報いちのへは、環境に配慮し、植物油インキとFSC森林認証紙を使用しています。



広報いちのへを
スマホにお届け



一戸町公式LINE
アカウント登録は、
こちらから

